

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行事名称	日光二社一寺文化財防火訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和6年1月26日（金）14:00～14:40
実施場所	日光東照宮 御仮殿（栃木県日光市山内）
主催者	日光東照宮、日光消防署

■実施内容

訓練の想定

日光東照宮御仮殿より出火し炎上中で、周辺の建造物に延焼拡大の恐れがあるという状況。また、初期消火をしていた東照宮職員1名が負傷し、他に要救助者が1名いる想定で救助、消火活動を実施する。

訓練の内容

日光東照宮職員が御仮殿の火災を発見し、連絡、通報、初期消火、参拝者等の避難誘導を実施。各社寺等の自衛消防隊による放水（消火栓及び放水銃使用）及び消防署、消防団による放水・救助訓練を実施する。

参加者及び役割分担

日光東照宮	（25名）	火災発見、連絡、119番通報、初期消火、重要物品搬出、参拝者の避難誘導、放水（放水銃及び消火栓による放水実施）、指揮本部
日光山輪王寺	（27名）	放水（可搬ポンプ部署ホース延長のみ）
日光二荒山神社	（11名）	放水（可搬ポンプ部署ホース延長のみ）
社寺共同事業所	（13名）	放水（放水銃部署ホース延長のみ）
社寺文化財保存会	（6名）	放水（本殿脇放水銃部署）
山内工務班	（5名）	放水（放水銃部署ホース延長のみ）
区民班	（3名）	放水（放水銃部署ホース延長のみ）
社寺殿堂案内共同組合	（8名）	放水（放水銃部署）
日光消防団本部、1、2、3分団	（32名）	指揮本部、放水訓練
日光消防署	（34名）	指揮本部及び演習全体統括、放水及び救出訓練、訓練講評
日光警察署	（2名）	交通整理
日光市教育委員会	（2名）	現場立会い

特に工夫した点

毎年、二社一寺持ち回りとしての訓練であり、その都度関係者による事前協議を行い訓練及び予防立入査察を実施している。常日頃から不測の事態に備えることを念頭においての訓練であり、今回は、日光東照宮が当番職として実施した。それぞれの任務分担を明確にし、自衛消防隊等の各団体が協力連携して損害を最小限に抑えることを意識して訓練を実施した。

問題点・課題

平成11年12月に日光の社寺が世界遺産に登録され、世界に誇る二社一寺の歴史と、伝統のある貴重な文化遺産を火災などの災害から守ることの重大さとその使命を再認識するとともに、社寺各自衛消防隊、消防署、消防団がより一層の連携を図ることが必要である。当地は寒冷地であり、冬季の消防水利の確保及び管理が重要な課題である。また、毎回のことではあるが、文化財ということで放水場所等に制約がある。

その他

重要な文化遺産を火災などの災害から守るため、日光二社一寺のみならず消防署・消防団・警察署他関係機関をはじめ周辺地域住民との連携・協力が不可欠であり、今後とも文化財愛護意識の高揚と防火・防災の必要性を啓発する機会でもあることから、継続して実施することが重要である。

訓練風景
訓練風景



放水訓練



式典